

# 鉄道周辺まちづくりアンケート調査の結果

## 調査結果（駅周辺のまちの理想像）

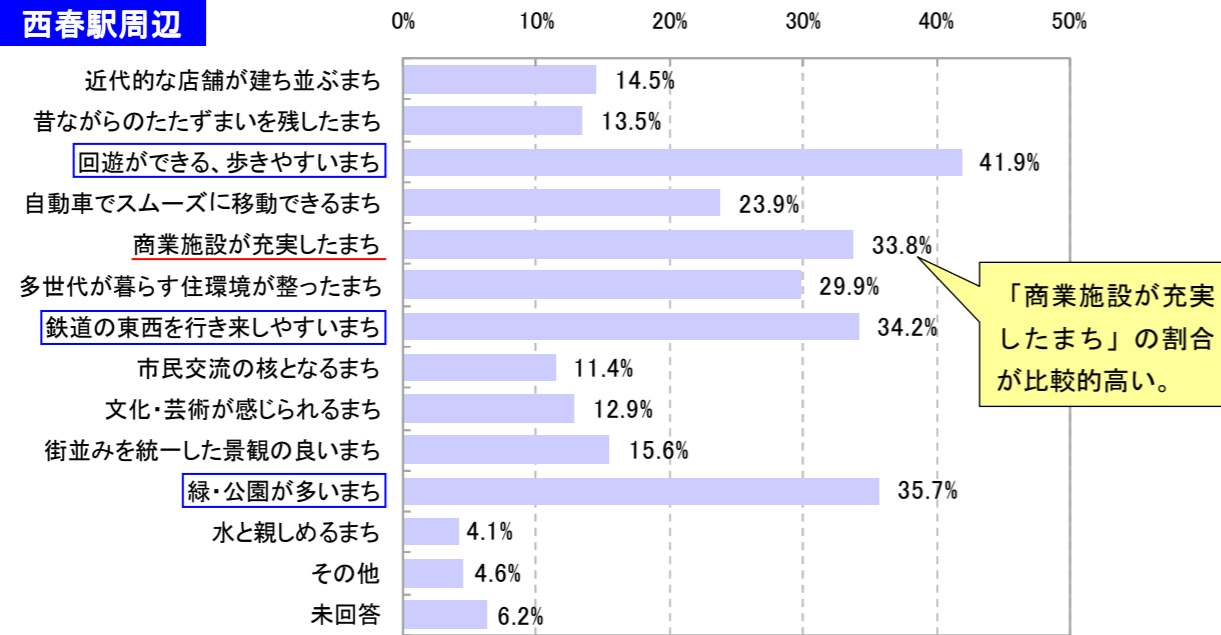
両駅ともに以下の回答の割合が高い。

- ・回遊ができる、歩きやすいまち
- ・鉄道の東西を行き来しやすいまち
- ・緑・公園が多いまち

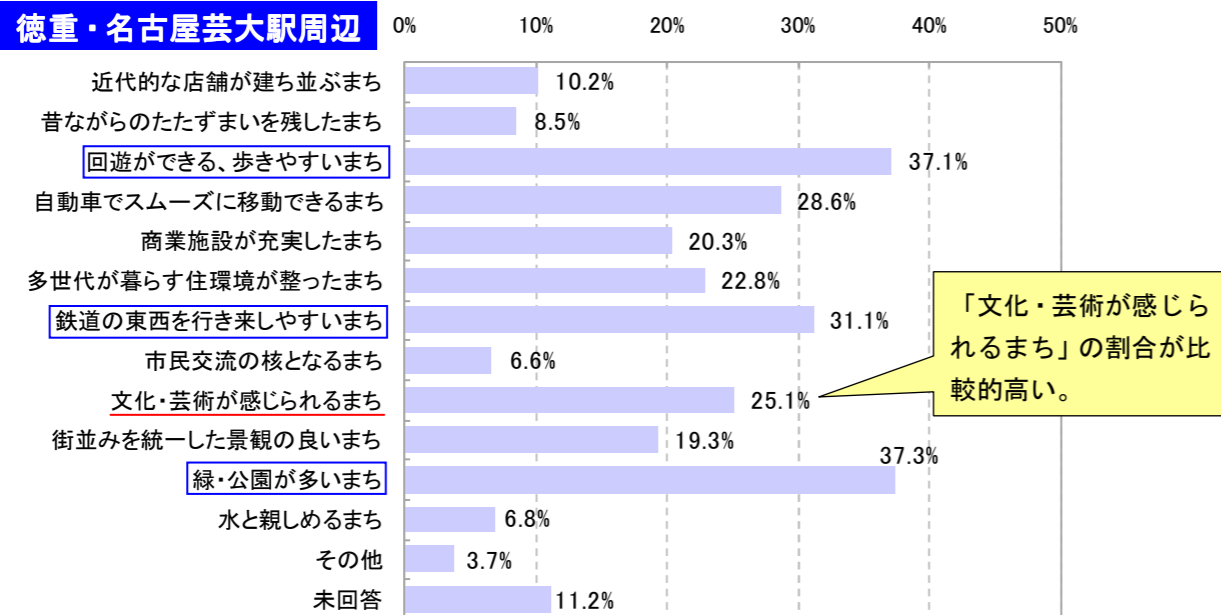
### ■調査概要

- ・対象 名鉄犬山線周辺にお住まいの1,000人（18歳以上）
- ・期間 4月12日～4月27日
- ・回収 482票（回収率48.2%）

### 西春駅周辺



### 徳重・名古屋芸大駅周辺



委員会の詳しい内容は市ホームページに掲載しています。

トップページ → 「知る」都市整備 → 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会  
<http://www.city.kitanagoya.lg.jp/profile/soshiki/toshiseibi/toshiseibi10.php>

まちづくりについてご意見等ありましたらお気軽にご連絡ください。

【お問合せ】北名古屋市役所 建設部 都市整備課

Tel 0568-22-1111・FAX 0568-25-5533 E-mail:toshi@city.kitanagoya.lg.jp

## 《第1号》

# 鉄道周辺まちづくりニュース

平成24年7月発行  
北名古屋市建設部都市整備課

北名古屋市では、名鉄犬山線の鉄道高架化の検討を行っており、この検討の中で、西春駅周辺から徳重・名古屋芸大駅周辺の名鉄犬山線周辺地域を対象に、まちづくり構想を策定することとしています。

まちづくり構想の策定に際しては、学識者、自治会代表、市議会議員代表などからなる「北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会」（以下「委員会」という。）を開催し、検討を進めています。

### ■委員会のメンバー

区分	人数
学識者(大学の先生)	2名
自治会代表者	10名
商工会、商店街、消防団	4名
市議会議員	4名
行政職員	5名
合計	25名

### 委員会の開催とまちづくり構想の策定の進め方

#### 第1回 委員会（4月26日）

- 現況調査
- アンケート調査の実施報告

#### 第2回 委員会（6月25日）

- アンケート調査の結果報告
- 道路と鉄道との立体交差化の考え方

#### 第3回 委員会（10月1日予定）

- 都市計画の総合的検討（将来目標、基本構想）

#### 第4回 委員会（11月予定）

- 基本構想の実現化方策
- 基本構想（案）の取りまとめ

#### 第5回 委員会（2月予定）

- 基本構想の策定
- 市へ提言

### 市民意見の把握

- アンケート調査  
4月12日～4月27日  
市民1,000人（18歳以上）に配布

- パブリックコメント  
7月11日～8月10日

- パブリックコメント  
12月頃から1ヶ月（予定）

まちづくり構想  
公表

## 第1回 委員会

鉄道周辺地域のまちの現況を調査し、様々なまちの問題点を確認しました。

### ■第1回委員会の内容

- ・まちづくり構想の策定の背景
- ・委員長、副委員長の選出
- ・策定委員会のスケジュール
- ・まちの現況調査
- ・アンケート調査の実施報告



### まちの現況調査

現況調査の結果、鉄道周辺のまちの問題点が以下のとおり確認されました。

#### 土地建物利用について

- ・駅前の都市機能の集積の遅れ
- ・駅周辺などの市街地における土地の低未利用
- ・多世代が共存する住環境の形成
- ・若宮地区における古い木造住宅の密集と賑わいの低下
- ・旧町境周辺における一体的な市街地整備の停滞

#### 公園緑地について

- ・都市公園の配置の偏り
- ・レジャー農園の保全
- ・五条川などの水辺環境の活用

#### 歴史・文化について

- ・岩倉街道の歴史的資源としての認識の低下
- ・アートの感じられる街並みの形成

#### 防災について

- ・五条川の未改修による洪水発生の危険性
- ・既成市街地における災害時の被害拡大の危険性

#### 環境について

- ・下水道整備の遅れ

#### 公共公益施設について

- ・市民の交流できる拠点施設の不足
- ・名古屋芸術大学との連携強化

#### 道路交通について

- ・名鉄犬山線の踏切遮断による交通渋滞
- ・名鉄犬山線の踏切事故発生の危険性
- ・県道名古屋豊山稲沢線の自転車・歩行者の危険性
- ・徳重・名古屋芸大駅の交通結節機能の不足
- ・鉄道東西を往来できる箇所への制約
- ・西春駅北側における幹線道路の不足
- ・旧町境や鉄道における道路の不連続

## 第2回 委員会

鉄道と道路との立体交差化について、「**鉄道の高架化がより良いまちづくりにつながる**」ということで考えがまとまりました。

### ■第2回委員会の内容

- ・鉄道周辺まちづくりアンケート調査結果の報告
- ・鉄道と道路との立体交差化の考え方



### 鉄道と道路との立体交差化の考え方

鉄道と道路との立体交差化の考え方は、以下のようにまとまりました。

#### ■上位・関連計画の位置づけからみると…

##### ●西春駅周辺

駅周辺の再整備が必要な時期に道路と鉄道との立体交差化を検討  
⇒地区特性、徳重・名古屋芸大駅周辺のまちづくりと整合した立体交差化の方式が求められる。

##### ●徳重・名古屋芸大駅周辺

道路と鉄道との立体交差化の推進  
⇒鉄道を高架化することで概ね合意形成が図られている。

#### ■まちの現況の問題点の解消からみると…

##### 道路と鉄道を立体交差化すると…

⇒鉄道をスムーズで安全に横断できる。  
**鉄道を高架化すると…**  
⇒鉄道横断箇所の制約や行き止まり道路の問題が解消できる  
⇒鉄道周辺での賑わい創出や一体感のあるまちづくりを進めることができる。

#### ■将来ビジョンの実現性からみると…

⇒鉄道の高架化は、将来の都市づくりのビジョンをより効果的に実現できる。

西春駅周辺及び徳重・名古屋芸大駅周辺では、  
鉄道の高架化によって  
より良いまちづくりの可能性が広がる。